

学事情報処理システムマニュアル

このマニュアルは、1997年2月に行われました『学事情報処理システム研究会』で配布したものをもとに、電子データ化したものです。したがって、DOS版の『桐 ver.5』で動作するシステムのマニュアルです。その後、メニュー追加・改変などがありますが、基本的な処理は変わっていませんので、導入される参考になればと思い掲載いたしました。

1999.12.27

学事情報処理システムの主な仕様

1. 基本情報

- ・学校情報。(学校名・所在地・学校長名)
- ・日付情報。
- ・採番情報。(調査書・卒業証明書発行番号)
- ・学事情報に関わる全ての名称をコード(数値)化し、各9999名称対応。(レコード仕様書参照)

2. 端末・メニュー設定

- ・端末権限の設定。
- ・個人権限の設定。
- ・メニューのメンテナンス。
- ・メニュー一覧出力可能。

3. 生徒基本情報

- ・6桁のコードによる管理。(上2桁で西暦を示し、以降4桁で氏名50音順連番を示す)
- ・1学年750名まで対応。
- ・住所マスタによる住所入力 of 簡素化。
- ・学籍変更(住所変更、転学、退学、留学、休学)可能。
- ・中学校とのデータ連携。(非公開)
- ・T X T・W J 2・K 3・S L K・T B Lファイルの生徒名列を取込可。
- ・新郵便番号対応。

4. クラス編成

- ・1学年15クラスまで対応。
- ・1クラス50名まで対応。
- ・学年・クラス名呼称対応。
- ・学科対応。
- ・原級留置、卒業延期の設定可能。
- ・生徒名列、住所一覧、電話番号一覧、出身中学校一覧、ルビ一覧出力可能。

5. 講座編成・履修振分

- ・20教科まで対応。
- ・年間999講座まで対応。
- ・生徒1人につき1年間30科目、3年間で74科目まで履修可能。
- ・必修科目講座履修レコード自動生成。(学科対応)
- ・教務選択科目講座振分データ変換。
- ・講座名列出力可能。

6. 時間割作成

- ・月～土・8時限対応。
- ・時間割変更が学期内で随時可能。
- ・曜日振替対応。
- ・教官別時間割表・生徒別時間割表出力可能。

7. 出欠業務

- ・全日欠席(欠席理由)の入力が可能。
- ・講座別出欠(欠課、遅刻、早退)の入力が可能。
- ・学期毎に一括で数値入力可能(生徒別講座別)。
- ・日別生徒別、週別生徒別、月別生徒別、学期別講座別、学期別生徒別、年度別生徒別の集計の自動化。
- ・出欠日報、(週間)出欠明細表、週間出欠集計表、遅刻数クラス別集計、講座別出欠チェックリスト出力可能。
- ・分散処理対応。

8. 成績

- ・講座別の素点（100点満点）・評定（1～5　＋・－符号付）・評価（1～5）の入力が可能。
- ・春・夏・冬宿題テスト、1・2学期中間・期末、学年末の素点が入力可能
- ・共通試験の設定が可能。
- ・偏差値、講座別平均、共通試験別平均算出の自動化。
- ・評定平均・修得単位数・学習成績概評・成績段階別人数集計の自動化。（新算出法対応）
- ・成績一覧（素点平均値一覧、素点分布グラフ・素点一覧、偏差値一覧、評価・評定一覧、個人一覧）出力可能。
- ・T X T・W J 2・K 3・T B L ファイルの成績データを取込可。
- ・分散処理対応。

9. 特別活動

- ・クラブ入部・退部・引退を随時入力可能。
- ・前期・後期ごとのH R・生徒会役員の入力が可能。
- ・クラブ・H R 役員・生徒会役員は1学年に1人各3つまで登録可能。
- ・クラブ入退部状況、H R 別クラブ入部一覧、役員一覧、H R 別役員一覧出力可能

10. 健康状況

- ・身長、体重、視力、聴力、結核、心電図、所見などの入力が可能。
- ・健康状況一覧の印刷が可能。

11. 模試

- ・マークカードによる模試結果のデータ収集が可能。
- ・河合塾模試データF Dの取り込みが可能。
- ・校内偏差算出の自動化。
- ・模試データ取込チェックリスト出力可能。

12. 進路希望

- ・マークカードによる進路希望のデータ収集が可能。

13. 担任所見

- ・所見文例をマスタ化することにより、コード入力のみで指導要録の所見入力可能。
- ・特別活動大会記録の入力が可能。
- ・分散処理対応。

14. 生徒個人票

- ・学習の記録。（学年別試験別科目別素点、偏差値、評価、評定、評定平均値）
- ・模試の記録。（試験別科目別得点、校内偏差、全国偏差）
- ・出欠の記録。（学年別月別）
- ・特別活動の記録。
- ・進路希望の記録。

15. 成績通知票

- ・学習活動の状況。（科目別学期別出欠、評価、評定）
- ・特別活動の記録。
- ・出欠の記録。（学期別）
- ・当年度履修単位数・修得単位数。

16. 生徒指導要録。

- ・学籍の記録。
- ・修得単位数。
- ・学習の記録。（学年別科目別）
- ・特別活動の記録。
- ・出欠の記録。（学年別）
- ・単位修得に関する所見。
- ・指導上参考となる諸事項。（担任所見）
- ・進学先
- ・進路希望

17. 調査書

- ・発行番号を自動採番。
- ・学籍の記録。
- ・学習の記録。（学年別科目別）
- ・評定平均値。
- ・学習成績概評。
- ・成績段階別人数
- ・出欠の記録。（学年別）
- ・健康状況。
- ・特別活動の記録。
- ・指導上参考となる諸事項。
- ・画面での調査書照会が可能。

18. 成績証明書

- ・英語対応

19. 卒業証明書

- ・発行番号を自動採番。

20. 在学証明書

- ・発行番号を自動採番。

21. 合否追跡

- ・マークカードによる合否追跡のデータ収集が可能。
- ・マークカード未提出者に警告（調査書入力）
- ・進学状況統計出力可能。（非公開）

22. 入試（非公開）

- ・内部入試・一般入試対応。
- ・試験結果・審議資料・合格者番号一覧・合格通知票出力可能。
- ・中学校とのデータ連携。

23. セキュリティー（機密保持）

- ・個々の教職員別にパスワードの登録・メンテナンスが可能。
- ・個人別・端末別に実行可能業務が設定可能。

動作環境

1 コンピュータ

(1) LANで使用の場合

- ・サーバー機 ... 1台

機種: NOSがサポートする機種

NOS: 桐Ver.5がサポートするNOS(Netware3.XJなど)

CPU: ファイルサーバーが快適に動作可能なCPU (i486DX2-66Mhz以上推奨)

RAM: ファイルサーバーが快適に動作可能な容量 (16MB以上推奨)

HDD: インストール時約50MB必要 (500MB以上推奨)

LANカード: NOSをサポートするもの

- ・クライアント...数台

機種: NEC98シリーズ、富士通FM-Rシリーズ、FM-TOWNSシリーズ、IBM互換機。

OS: NEC98シリーズ及びFM-R・FM-TOWNS ... MS-DOS 3.3以降、WINDOWS95

IBM互換機 ... MS-DOS 3.3/V以降、WINDOWS95

CPU: i386以上 (i486SX33Mhz以上推奨)

RAM: 1.6MB以上のRAM (WINDOWS95搭載の場合8MB以上推奨)

FDD: 1台

LANカード: NOSをサポートするものまたはWINDOWS95がサポートするもの

本システムはサーバーにインストールしないと各端末で利用できません。

LAN構成によってはHUB、リピータ、ブリッジなどが必要になります。

(2) 分散処理または1台のパソコンで使用の場合

- ・親機 ... 1台

機種: NEC98シリーズ、富士通FM-Rシリーズ、FM-TOWNSシリーズ、IBM互換機。

OS: NEC98シリーズ及びFM-R・FM-TOWNS ... MS-DOS 3.3以降、WINDOWS95

IBM互換機 ... MS-DOS 3.3/V以降、WINDOWS95

CPU: i386以上 (i486SX33Mhz以上推奨)

RAM: 1.6MB以上のRAM (WINDOWS95搭載の場合8MB以上推奨)

HDD: インストール時約50MB必要 (500MB以上推奨)

FDD: 1台

- ・端末 ... 数台

機種: NEC98シリーズ、富士通FM-Rシリーズ、FM-TOWNSシリーズ、IBM互換機。

OS: NEC98シリーズ及びFM-R・FM-TOWNS ... MS-DOS 3.3以降、WINDOWS95

IBM互換機 ... MS-DOS 3.3/V以降、WINDOWS95

CPU: i386以上

RAM: 1.6MB以上のRAM (WINDOWS95搭載の場合8MB以上推奨)

HDD: インストール時約1MB必要

FDD: 1台

2 データベースソフト～桐ver5（管理工学研究所）

(1) LANで使用の場合

- ・サーバー ...桐ver5本体
- ・クライアント...桐ver5オープンセサミ×クライアント台数分

(2) 分散処理または1台のパソコンで使用の場合

- ・桐ver5本体×コンピュータ台数分

3 プリンタ

桐ver5に対応しているA3用紙横印刷が可能なプリンタ（レーザーページプリンタ推奨）
（E P S O N L Pシリーズ以外の機種での動作保証はできません）

4 マークカードリーダー

S R - 3 0 7（S E K O N I C）以外のマークカードリーダーをご使用の場合は読み取りプログラムを作成する必要があります

5 B A S I Cコンパイラ（マークカード読み取りプログラムを実行するのに必要）

M S - D O S 版N 8 8日本語B A S I C（8 6）コンパイラなど
マークカード読み取りプログラムはソース公開という形にしていますので、ソースをコンパイルする必要があります

学事情報処理システムのインストール

．インストールする前に

学事情報処理システムを使用するためにはハードディスクにインストールする必要があります。
そのためには、

- ・ 桐Ver 5 のインストール
- ・ 日本語入力の設定
- ・ ハードディスクの空き容量の確保（インストール先ドライブには40MB以上必要）
- ・ WINDOWS95上でサーバーにインストールする場合はネットワークコンピュータのプロパティーでサーバーにドライブを割り当てる。

といった作業が必要です。確認をしてください。

．インストール

1．MS-DOSでのインストール

- ・ インストールディスクの「ディスク1」をドライブに挿入します。
- ・ カレントドライブをフロッピーディスクに変更します。

例）フロッピーディスクドライブが「C」の場合

A:¥>C: リターンキー
半角で入力してください。

- ・ インストーラーを起動します。

例）桐Ver.5が「A」ドライブの「KIRIV5」というディレクトリにインストールされていて、システムを「B」ドライブの「GAKUJI」というディレクトリにインストールする場合

C:¥>INSTALL B:¥GAKUJI A:¥KIRIV5¥ リターンキー
半角で入力してください。

- ・ 以降インストールプログラムの指示に従ってインストールを完了してください。

2．WINDOWS95でのインストール

- ・ スタートメニューから「MS-DOSプロンプト」を起動してください。
- ・ 「JP」と入力してリターン。
- ・ 「1．MS-DOSでのインストール」の手順通りにインストールを完了してください。
- ・ 「MS-DOSプロンプト」ウインドウを閉じます。

A:¥>EXIT リターン

・ 桐Ver.5のインストールされているディレクトリの「EXEC.BAT」のショートカットを作成します。

- ・ 「エクスプローラ」を起動する。
- ・ 桐Ver.5のインストールされているドライブを左クリック。
- ・ 桐Ver.5のインストールされているディレクトリを左クリック。
- ・ ディレクトリ中の「EXEC.BAT」にマウスカーソルを合わせ右クリック。
- ・ 右クリックメニュー中の「ショートカットの作成」にマウスカーソルを合わせ右クリック。
- ・ 「EXEC.BATへのショートカット」をデスクトップ上にドラッグ&ドロップ。
- ・ デスクトップ上のショートカットアイコンにマウスカーソルを合わせ右クリック。
- ・ 右クリックメニュー中の「プロパティ」にマウスカーソルを合わせ左クリック。
- ・ ショートカットプロパティ中上段の「プログラム」を左クリック
- ・ 一番上のテキストボックスの「EXEC」を「入試システム」と書き換えます。
- ・ 「プログラム終了時にウインドウを閉じる」のチェックボックスをONにします。
- ・ 上段の「メモリ」を左クリックし全ての数値を「自動」にします。
- ・ 上段の「スクリーン」を左クリックして「使い方」の「フルスクリーン表示」チェックボックスをONにします。
- ・ 上段の「その他」を左クリックして「フォアグラウンド時の設定」の「スクリーンセーバーを使う」チェックボックスをOFFにします。
- ・ 「ほかのプログラムの優先度」を最低にします。
- ・ 「OK」ボタンを左クリック。
- ・ 「エクスプローラ」を閉じる。

・ 日本語FEPをW I N D O W S 9 5 添付のものからA T O K 8または松茸に変更する場合はブートドライブの「DOSIME.SYS」中の日本語FEPのドライバを変更してください。（変更前に「DOSIME.SYS」をバックアップしておいてください。変更したことによる障害及び損害には一切責任を負いません。）

インストールに関するトラブルシューティング

- ・インストーラーを起動しようとするとき「コマンドに誤りがあります」というメッセージが表示される。

原因) ・本システムインストールフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていない。
・カレントドライブが本システムインストールディスクのセットされたドライブではない。

対処) - 1 - ~ の手順を確認してください。

- ・インストーラーを起動したら「パラメータに誤りがあります」というメッセージが表示される。

原因) インストーラーのパラメータが正しく記述されていない。

対処) - を確認してください。

- ・インストール中ディスク交換をして、任意のキーを何度も押したがインストールを続行しない。

原因) 誤ったディスク番号のフロッピーディスクがセットされている。

対処) 正しいディスク番号のフロッピーディスクをセットしてください。

- ・インストール中にエラーが起こってインストールが中断した。

原因) ・ - 1 - の第2パラメータに誤りがある。(パラメータの最後に「¥」が記述されていない)
・インストール先のハードディスクの空き容量が足りない。

対処) ・ - 1 - を確認して、再度インストールを行ってください。
・ハードディスクの空き容量を確保して、再度インストールを行ってください。

セ ッ ト ア ッ プ

1. MS - DOSのセットアップ

- ・出来るだけ「ディスクキャッシュ」(SMARTDRV.EXE等)を使用する事をお奨めします。詳しくはディスクキャッシュが添付されているソフトのマニュアルを参照してください。

2. 桐Ver5のプリンタセットアップ(初期メニューのI:環境設定の1)

- ・「プリンタ1」の文字サイズを7.2Pにしてください。
- ・「プリンタ2」の文字サイズを9.6Pにしてください。
- ・「プリンタ3」の文字サイズを12Pにしてください。

使用されるプリンタが以上の文字サイズに対応していない場合は、帳票が正常に印刷されない場合があります。

3. マークカード読み取りプログラムのコンパイル

マークカード読み取りプログラムはN88BASICソースのみの公開となっています。ソースをコンパイルするにはコンパイラが必要です。

NEC98シリーズ互換機以外の機種でマークカード読み取りをおこなわれる場合、またはマークカードリーダーがSEKONIC製SR-307以外の機種の場合はソースの訂正、新規作成が必要になります。詳しくはBASICコンパイラまたはマークカードリーダーの説明書をご覧ください。

- ・N88BASICコンパイラのライブラリ及びコンパイルプログラムを学事情報処理システムをインストールしたディレクトリにコピーして、学事情報処理システムのディレクトリに移動して以下の様に入力してください。

BASICC MARK.BASリターン(半角で入力してください。)

BASICC MARK2.BASリターン(半角で入力してください。)

4. セキュリティー(機密保持)について

学事情報処理システム上ではパスワード管理・権限管理(後述)によって外部不正侵入を防ぐようにしていますが、そのままでは桐Ver.5を起動して表形式編集でシステムの各表の内容を閲覧、編集できるようになっています。本格的にシステムを稼働する場合はセキュリティーをしっかりとしておくことを薦めます。以下は桐Ver.5利用者コードの設定方法です。

桐Ver.5を起動する。

「表定義」を選び学事情報処理システム内の表を選択する。

「表題等」を選ぶ

表題中の各利用者コードにすべての表に共通する利用者コードを入力する。

「表題等」を終了して、表定義を保存終了する。

～ をすべての表について行ってください。ただし、"KANRI.TBL"の参照利用者コードのみは設定をしないでください。

「表定義」を選び"KANRI.TBL"を選択する。

「利用者コード」の表示幅を4にする。

表定義を保存する。

表形式編集を選び"KANRI.TBL"を選択する。

利用者コード欄にすべての表に設定した利用者コードを入力する。

表を保存する。

「表定義」を選び"KANRI.TBL"を選択する。

「利用者コード」の表示幅を0にする。

表定義を保存する。

しかし、以上の設定をしても利用者コード解析プログラムなどがパソコンネット等で配布されているのでセキュリティは完全とはいえません。

- ・セキュリティ機能付きのパソコンの場合、C M O S (B I O S) セットアップでパスワードを設定する。
- ・ネットワークで使用している場合は、各ログイン名毎にパスワードを設定する。
- ・セキュリティ管理ソフトを購入する。

といった手段で2重3重にセキュリティを設定してください。(詳しくは各マニュアルを御覧になってください。)

学事情報処理システムの起動

・ M S - D O S での起動 (日本語FEPドライバがすでに組み込まれていことが前提。)

- 1 . カレントドライブを桐Ver.5のインストールされているドライブに変更してください。

例) 桐Ver.5のインストールされているドライブが「 A 」の場合

C:¥>A: リターンキー
半角で入力してください

- 2 . 桐Ver.5のインストールされたディレクトリに移ります。

例) インストールしたディレクトリが「 K I R I V 5 」の場合

A:¥>CD ¥KIRIV5 リターン
半角で入力してください

- 3 . 続いて以下の様に入力してください。

A:¥KIRIV5>EXEC リターン
半角で入力してください

- 4 . しばらくすると本システムメインメニューが表示されます。

・ W I N D O W S 9 5 での起動

- 1 . デスクトップ上の「学事情報処理システム」を左ダブルクリックしてください。

ネットワークで起動する場合は、端末マスタ保守で端末情報の登録を完了するまでは"SUPERVISOR"のログイン名でシステムを起動してください。

用語解説

このマニュアルは桐 Ver.5 及び MS-DOS の知識をがあることを前提にして作成されています。詳しくは各マニュアルをご覧ください。

- ・ **画面** 桐 Ver.5 でいう「画面帳票」のこと。
- ・ **区分** 分類を数字または文字で表現する。

例) 委員会区分: 1=HR 役員、2=生徒会役員
出欠区分: 病=病欠、公=公欠
- ・ **コード** マスタに採番される番号のこと。
- ・ **更新**
 - ・ あるファイルのレコードから違うファイルのレコードを作成する。
 - ・ あるファイルのレコードの情報を違うファイル中のコードが一致するレコードへ書き出す。
- ・ **集計** あるファイルの特定項目の数値を、特定のグループごとにある条件で加算し、計算結果を求めること。
- ・ **端末** ネットワークでいうクライアントのこと。スタンドアローンではそのコンピュータ。
- ・ **パスワード** 処理を実行する際に教職員コードを入力して、本人であるかを判断する暗証番号(空白・数字・記号・アルファベット・カタカナで 4 文字)
- ・ **ファイル** 桐 Ver.5 でいう「表」のこと。
 - ・ **マスタ** 1). システムの基本情報が入っているファイル。
例) 管理マスタ・年度マスタ・段階マスタなど
2). 名称やその情報を番号(コード*)を採番して管理しているファイル。
例) 名称マスタ・講座マスタ・生徒マスタなど
 - ・ **ｼﾞﾔｰﾅﾙ** 入力処理で入力された情報がそのまま入っているファイル。情報の入口となるファイルを指す。
 - ・ **記録ファイル** ｼﾞﾔｰﾅﾙの更新先ファイル。各項目に情報が代入、集計される。このファイルのレコード*には、年度の情報が管理されており、年度末に累積ファイルに更新され、レコード*は全削除される。(例外ファイルもある)
 - ・ **累積ファイル** 記録ファイルの更新先。情報は最終的にこのファイルに蓄積される。(学習記録ファイルも累積ファイルになっている)
 - ・ **ワーク** 1). 入力作業時、一時的にレコード*を書き出すファイル。
保存終了時ワークのレコード*を書き出し元のファイルのレコード*へ上書きする。破棄終了ならワークのレコード*を削除する。
2). 印刷時、基本ファイルから印刷したいレコード*だけが書き出されるファイル。
- ・ **保守** レコードを作ったり、存在するレコードの内容を訂正したり、レコードを削除すること。
- ・ **メニュー** 学事情報処理システムを起動した時に表示される処理を選ぶことのできる画面。
- ・ **レコード** 桐 Ver.5 でいう「行」のこと。

画面の説明

メニュー画面の場合

「メニュー番号」
この番号に対応したキーを押すとその処理が実行されます。

生徒登録・保守メニュー

1996年11月22日

1 ☐ 生徒登録(新1年生登録用)

6 中学校マスタ保守

「更新処理」
集計・転記・変換処理を自動的にを行います。「△」が先頭についています。

更新

「印刷処理」
帳票印刷を行います。「○」が先頭についています。

度末・

3 生徒ルビ更新

8 ○ 生徒ルビ一覧

4 ☐ 生徒マスタ保守(訂正用)

9 → 各種名列印刷メニューへ

「入力処理」
マスタ保守・各種入力が行えます。「□」が先頭についています。

「メニュー移動」
表示されているメニューに移動します。

作成：京都教育大学附属高等学校 学事情報研究部

操作指示:処理を選択してください。
KEYガイド:カーソル=移動 0~9=実行

生徒登録画面の場合

生徒マスタ保守

1996年11月22日

名列番号 1-1 01

フリガナ フジキ

生徒氏名 「ヘッダ」

NAME 登録・編集する情報を指定する項目です。

郵便番号

生徒住所 京都府京都市左区深草関屋敷町

マンション名

電話番号 075-641-9195

フリガナ フジキ ダイカク

保護者名 附属 大学

郵便番号

保護者住所

続柄 1 1=父 2=母

「コード入力」
該当するマスタコードを入力します。未入力の場合は一覧選択画面に移ります。

緊急連絡先

中学校コード 1

出身高校コード

入学学年

「操作指示」
この指示に従って入力を進めます。

年 03 月 31 日

入 通 常 2=編入 3=転入

入 学 年 月 日 平成 9 年 04 月 08 日

操作指示:処理を選択してください。
KEYガイド:1=登録 2=更新 3=削除 4=前進 5=後退 6=終了

「KEYガイド」
キー操作の説明が表示されます。